

【単価表-1】簡易排水装置設置\_W=95 H=70 蓋付

1 個 当り

名 称	規 格	単位	数 量	諸雑費	備 考
土木一般世話役		人	0.300	○	
特殊作業員		人	0.900	○	
普通作業員		人	0.600	○	
諸雑費(率+まるめ)	労務費の2%	式	1.000		

※ 諸雑費は、工具類、投光器等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

【単価表-2】突合せ溶接

10 箇所 当り

名 称	規 格	単位	数 量	諸雑費	備 考
土木一般世話役		人	0.310	○	
溶接工		人	1.250	○	
諸雑費(率+まるめ)	労務費の14%	式	1.000		

※ 諸雑費は、雑材・器具損料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

【単価表-3】ナット取替\_M24

100 個 当り

名 称	規 格	単位	数 量	諸雑費	備 考
橋梁世話役		人	2.300	○	
橋梁特殊工		人	4.600	○	
普通作業員		人	2.300	○	
諸雑費(率+まるめ)	労務費の17%	式	1.000		

※ 諸雑費は、工具類及び消耗材料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

【単価表-4】排水管撤去\_既設橋面取壊し含む

10 箇所 当り

名 称	規 格	単位	数 量	諸雑費	備 考
土木一般世話役		人	1.600	○	
特殊作業員		人	2.600	○	
普通作業員		人	2.000	○	
トラックレン作業料金	オヘ°付 4.9t吊	日	1.000		
諸雑費(率+まるめ)	労務費の2%	式	1.000		

※ 諸雑費は、機械損料、雑材料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

【単価表-5】排水管設置\_橋面復旧含む

10 箇所 当り

名 称	規 格	単位	数 量	諸雑費	備 考
土木一般世話役		人	2.800	○	
特殊作業員		人	3.200	○	
普通作業員		人	2.400	○	
トラックレン作業料金	オヘ°付 4.9t吊	日	1.400		
諸雑費(率+まるめ)	労務費の20%	式	1.000		

※ 諸雑費は、機械損料、材料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

【単価表-6】断面修復(2)\_型枠注入工法

0.03 m3 当り

名 称	規 格	単位	数 量	諸雑費	備 考
土木一般世話役		人	0.610	○	
特殊作業員		人	1.910	○	
普通作業員		人	1.130	○	
諸雑費(率+まるめ)	労務費の9%	式	1.000		

※ 諸雑費は、ハンドミキサー、発動発電機賃料、型枠材、工具損料及び燃料・油脂類に関する費用等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

## 【単価表-7】断面修復(3)

0.009 m3 当り

名 称	規 格	単位	数 量	諸雑費	備 考
土木一般世話役		人	0.525	○	
特殊作業員		人	1.590	○	
普通作業員		人	1.030	○	
諸雑費(率+まるめ)	労務費の7%	式	1.000		

※ 諸雑費は、ハンドミキサー、発動発電機賃料、型枠材、工具損料及び燃料・油脂類に関する等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

## 【単価表-8】導水管設置

2 箇所 当り

名 称	規 格	単位	数 量	諸雑費	備 考
土木一般世話役		人	0.500	○	
特殊作業員		人	1.000	○	
普通作業員		人	0.500	○	
諸雑費(率+まるめ)	労務費の12%	式	1.000		

※ 諸雑費は、工具類等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

## 【単価表-9】既設排水管撤去

10 本 当り

名 称	規 格	単位	数 量	諸雑費	備 考
土木一般世話役		人	0.600	○	
特殊作業員		人	1.600	○	
普通作業員		人	1.000	○	
トラックレン作業料金	オペ付 4.9t吊	日	1.000		
諸雑費(率+まるめ)	労務費の2%	式	1.000		

※ 諸雑費は、機械損料、雑材料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

【単価表-10】排水管設置

10 本 当り

名 称	規 格	単位	数 量	諸雑費	備 考
土木一般世話役		人	0.800	○	
特殊作業員		人	2.200	○	
普通作業員		人	1.400	○	
トラッククレーン作業料金	オヘ付 4.9t吊	日	1.400		
諸雑費(率+まるめ)	労務費の2%	式	1.000		

※ 諸雑費は、機械損料、雑材料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。